

事業番号	02 08 07	事業改善シート (27年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	農村交流活性化支援事業			担当課	部局	企画振興部	
総合5か年計画	プロジェクト	・6-2-3 誇りある暮らし実現プロジェクト ・2-2-5 農山村産業クラスター形成プロジェクト		課・室	地域振興課		
	施策の総合的展開	2-1 魅力ある地域の創造と発信 5 移住・交流の推進		E-mail	shinko@pref.nagano.lg.jp		
				実施期間	H14 ~		

1 事業の概要

目指す姿	グリーン・ツーリズムの推進や農林業体験等を活用した学習旅行の受入、「国際青少年農村交流宣言」の普及による都市農村交流の促進を通じて農山村の活性化を図る。 【成果目標】都市農村交流人口：(H22)546,544人→目標(H29)600,000人※長野県総合5か年計画、第2期長野県食と農業農村振興計画		
現状(予算編成時)	<ul style="list-style-type: none"> 農山村においては、担い手の減少や高齢化、地域における共同活動の低下などにより、自然豊かな農村の原風景や生活の営み(暮らし)の維持が困難になる地域が拡大。 都市住民においては、「自然の中で体を動かしたい」、「農林漁業体験をしたい」、「郷土料理を食べたい」、「景観を眺めたい」といった”ふるさと回帰志向”ニーズの高まり。 「長野県移住・交流推進戦略」(H24.3.16策定)において、グリーン・ツーリズム、児童生徒の教育旅行を推進戦略として位置付け、行政と民間の協働による全県的な取組を展開。 		
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】 ・県が民間、市町村と連携して広域的な取組を展開することで、相乗効果が期待できるため ・県民との協働による実施： 検討中 県の関与は欠かせない。	

成果目標・事業内容	① 成果目標(H27)					
	都市農村交流人口 H27 580,000人					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H27事業実績	H27 (当初)	H27 (決算)	H28 (当初)
	国際青少年交流農村づくりの推進	直接	・グリーンツーリズムの普及、推進に向けたシンポジウム等の開催	1,223	833	1,112
合計			1,223	833	1,112	

事業コスト	区分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度	成果目標の達成状況					
	前年度繰越			0		項目	H26末(実績)	H27			H28目標
	当初予算	3,400	3,709	1,223	1,112			目標	成果	達成状況	
	補正予算	0	0	0		都市農村交流人口	599,351人	580,000人	604,427人	達成	590,000人
	合計(A)	3,400	3,709	1,223	1,112						
	一般財源	2,211	0	0	723						
	県債	0	0	0							
	国庫支出金	0	2,500	0							
	その他	1,189	1,209	1,223	389						
	決算額(B)	3,242	858	833							
概算職員数(人)	0.50	0.50	0.30	0.30							
概算人件費	4,129	4,129	2,483	2,483							
概算事業費(B(A)+C)	7,371	4,987	3,316	3,595							

目標に対する成果の状況	「ふるさと全国県人会まつり」や、連携協定を結んでいる都内大学のイベントにおいて来場者に向けたPRを行い、都市と農村の交流活性化を促したほか、県内市町村と連携し、名古屋市で「信州での暮らし」をテーマとしたシンポジウムを開催し、グリーンツーリズムの普及・推進を図った。 都市農村交流人口については、前年度を上回った。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 引き続き都市圏での商談会等を通じて都市農村交流人口の増加を図っていく
--------------------	---